

<H16-5-A : 問題>

撮影基準面における縮尺が $1/10,000$ の鉛直空中写真上に、高さ 50m の高塔が写っている。その高塔の像の長さは写真上で 3.0mm、写真鉛直点から高塔の先端までの長さは 87mm であった。この高塔の立っている地点の標高はいくらか。次の中から選べ。

ただし、撮影基準面の標高は 150m、航空カメラの画面距離は 15cm とする。

1. 50 m
2. 100 m
3. 150 m
4. 200 m
5. 250 m

〈H16-5-B：問題〉

次の文は、標準的な公共測量作業規程に基づいて実施される修正測量の作業工程について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 写真測量による修正では、他機関で撮影した空中写真が十分に使用できるものであれば、撮影工程を省くことができる。
2. 写真測量による修正では、図化に代えて偏位修正写真(正射投影写真)の透写で修正を行うことができる。
3. 平板を用いる方法による修正では、地形図の地物を使用して平板の整置等を行うことができる場合、基準点の設置と基準点の展開の工程を省くことができる。
4. 既成図を用いる方法による修正では、既成図の内容が十分信頼できるものであれば、現地調査の工程を省くことができる。
5. トータルステーションを用いる方法による修正では、編集工程の必要はない。

〈H16-5-C : 問題〉

次の文は、標準的な公共測量作業規程に基づいて実施される空中三角測量の方式について述べたものである。 ア ~ オ の中に入る語句の組合せとして最も適切なものはどれか。次の中から選べ。

空中三角測量のブロック調整には3つの方式がある。内部標定後に調整計算を行うのが

ア、内部・相互標定後に調整計算を行うのが イ 内部・相互・接続標定後に調整計算を行うのが ウ である。各方式でブロック調整を行う際に必要とする基準点数が最も エ なるのは ウ であり、計算時間が最も オ なるのは ア である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	多項式法	独立モデル法	バンドル法	多く	長く
2.	独立モデル法	バンドル法	多項式予去	少なく	短く
3.	バンドル法	多項式法	独立モデル法	多く	短く
4.	多項式法	バンドノレ法	独立モデル法	少なく	長く
5.	バンドル法	独立モデル法	多項式法	多く	長く

<H16-5-D : 問題>

次の文は、人工衛星からのリモートセンシングについて述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 近年、地上分解能が 1m 程度の光学センサを持つ高分解能衛星からの画像により、雲の影響を受けずに詳細な地図を作成できるようになった。
2. リモートセンシングで一般的に扱われる電磁波の波長域は、可視光域、赤外域、マイクロ波域などである。
3. 合成開口レーダ(SAR)は、マイクロ波を対象物に照射し、対象物からの反射波を観測するため、一般に昼夜を問わず観測することができる。
4. ステレオ画像が得られる地球観測衛星も実用化されており、この画像から標高データを作成することができる。
5. 異なる時期に撮影した同一地域の衛星画像から、広範囲な地表面の変化を捉えることができる。